

白石におやじの会あり。

札幌市内には、小・中学校単位で保護者の有志の皆さんが集まってつくった「おやじの会」があり、学校行事などで活躍しています。
白石区では市内初となる、区内のおやじの会をつなぐための「ALL白石おやじの会」が発足し、地域の活動にも積極的に関わっています。
今月の特集では、ALL白石おやじの会の皆さんに、子どもとの関わりや地域活動に対する思いを伺いました。

【問い合わせ先】 区総務企画課広聴係 ☎861-2410

おやじの会との出会い

— 始めに、おやじの会で活動を始めたきっかけをお伺いします。

川上…私は長女の中学校入学を機に、おやじの会に入りました。最初は主催のソフトボール大会に出たいという単純な理由からでした。子どもたちはもう高校生になりましたが、今は高校生と小・中学生とが交流できる機会を作りたいという思いもあって活動を続けています。

佐々木(康)…私も子どもが中学生になった時に、学校行事を気軽に手伝うことができそうだと思って入会したのがきっかけです。おやじの会には、川上さんのようにOBになっても活動を続けてくれる方がいて、何かと相談に乗ってくれるのがとてもありがたいです。

佐々木(真)…私は夫の活動を手伝っているうちにいつの間にか、OBや私のような母親が参加させてもらえるという懐が深いところが、この会のいいところですね。

安井…夏休みに子どものラジオ体操を少し手伝おうと思い、おやじの会の人に相談したのがきっかけです。

片山…小学校のおやじの会主催の、親子レクリエーションに参加したのがきっかけです。当時、やんちゃ盛りの息子三人の子育てが大変でしたが、イベント参加時に、おやじの会のメンバーに面倒を見てもらえて、とても助かりました。

おやじの会とは？

学校や地域の活動を通して父親が子育てに積極的に関わることを目的として、約20年ほど前から全国で設立されています。札幌市内でも多くの団体が活動しており、平成20年には市内の各おやじの会の情報共有や交流の場をつくることを目的として「札幌おやじネットワーク」が設立されました。

①菊水地区の雪中運動会でかまくらを製作②中学生や地域住民などと、高齢者宅の除雪ボランティアを実施③地域の子どもたちと間伐材を使った工作に挑戦

